

放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の連携に関する試行事業について

		ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
小学校区		袋原小学校区	加茂小学校区	東宮城野小学校区	館小学校区
放課後児童クラブ	児童クラブ名	袋原コミュニティ児童館児童クラブ	加茂児童センター児童クラブ	東宮城野マイスクール児童館児童クラブ	館児童センター児童クラブ
	位置	小学校敷地内	小学校敷地外	小学校内	小学校敷地外
	児童クラブ登録児童数 ※1	143	67	40	84
	職員数 ※2	15 (館長1、副館長1、常勤5、非常勤8)	7 (館長1、常勤3、非常勤3)	6 (館長1、常勤2、非常勤2、補助員1)	7 (館長1、常勤3、非常勤3)
放課後子ども教室	教室名	袋原アフタースクール	加茂っ子クラブ放課後教室	東宮城野あけぼの教室	館放課後子ども教室
	対象学年	1～6	1～6	1～6	2～6
	登録定員 ※1	なし	40名程度	なし	20名程度
	登録児童数 ※1	38	26	60	20
	参画者数 ※1	24 (コーディネーター6、安全指導員18)	12 (コーディネーター5、安全指導員7)	14 (コーディネーター4、安全指導員10)	6 (コーディネーター6、安全指導員0)
平成29年度の連携状況	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室の通常のプログラムに、放課後児童クラブ登録児童が何人か登録・参加している。 両事業のスタッフ間において、定期的な打ち合わせの場等は設けていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室の通常プログラムに、放課後児童クラブ登録児童は殆ど登録・参加していないが、年に数回、全ての児童が参加できる催しがある。 両事業のスタッフ間において、行事を手伝う等の交流はあるが、行事の企画段階からの連携はなされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室の通常プログラムに、放課後児童クラブ登録児童が何人か登録・参加している。 両事業のスタッフ間において、行事を手伝う等の交流はあるが、行事の企画段階からの連携はなされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室の通常プログラムに、放課後児童クラブ登録児童は参加していない。 両事業のスタッフ間において、定期的な打ち合わせの場等は設けていない。 	
平成30年度の試行的取組	<ul style="list-style-type: none"> 互いの活動の情報交換 児童の所在確認・安全確保等の取扱について、両事業のスタッフ間で打ち合わせを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの活動の情報交換 放課後子ども教室の通常プログラムに、放課後児童クラブの登録児童が参加 共同でイベントを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの活動の情報交換 放課後子ども教室の通常プログラムに、放課後児童クラブの登録児童が参加 共同でイベントを実施 	検討中	
(上記のメリット)	互いの活動の理解、児童に対する細やかな対応、児童の所在確認・安全確保等	イベントの充実、児童・地域・児童館の交流拡大等	イベント・プログラムの充実、児童・地域・児童館の交流拡大等	—	
児童館・放課後子ども教室のスタッフの所感	<ul style="list-style-type: none"> 特に児童クラブにおける児童の所在確認に苦慮している。 所在確認の仕組みができ、それに要する時間が削減できれば、両事業のスタッフが連携することは、それほど難しくないとと思われる。とのことであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室のプログラムに児童センターが協力していく方向が良いと思われる。 企画段階から連携することで、子どもへの良い影響と共に、放課後子ども教室のスタッフの居場所の創出にも効果があると思われる。 事故発生時の責任体制や保険の適用について整理する必要がある。 児童クラブの登録児童が放課後子ども教室の通常のプログラムに参加する際の児童の移動に配慮する必要がある。とのことであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童館の協力を得ることで、放課後子ども教室だけでは難しいことにも取り組むことができるのではと感じる。 連携することによって、スタッフ・保護者の交流の場を生み出し、皆で子供を育む意識を高めることができるというメリットが期待される。 共同でイベントを実施する際は、新たに人材や経費が必要となる。とのことであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室のスタッフが不足しており、児童クラブとの連携には時間を要する。 両事業が連携する場合、児童の安全確保や事故発生時の責任体制を整理する必要がある。 連携にあたっては、両事業のスタッフが双方の活動を理解するところから始めるべきである。とのことであった。 	

※1 平成30年5月時点

※2 平成30年度当初の状況